



重低音を響かせて 美景の中を疾風のごとく ワインディングロードを駆け抜ける

(尾張南支部)
サンコーリサイクル株式会社
代表取締役

金田 琳さん



協会理事・広報編集委員・青年部会長を務められる金田氏

Revival

循環あいち103号(平成29年4月発行)以降、お休みをしておりました「趣味倶楽部」を再開致します。コロナ禍だからこそ楽しい趣味を語り、豊かな時間の過ごし方についてご紹介致します。

リバイバル第1回目は、「土」や「水」のリサイクルを通してより良い環境づくりへ貢献される、サンコーリサイクル株式会社(東海市浅山3丁目190 電話 052-601-8883)代表取締役 金田琳氏にお話を伺いました。

■趣味倶楽部が再開されましたね。

じつは私、広報編集委員を担当しておりました企画会議の際、コロナ禍においての楽しい企画ということで「趣味倶楽部」の再開を提案したところ、委員の皆さんから賛同をいただき今回の運びとなりました。

■それで、第1回目にご登場いただいたのですね。

提案したということもあります
が皆さんにお話しすることで、
コロナ禍でも楽しい時間の過ごし
方について知っていただければと
思っています。

■では、趣味は何ですか。

バイクに乗ることです。
バイク歴は18年ほど。

17歳で中型自動二輪の免許を
取得し、その後大型自動二輪の免
許も取得しました。

免許取得当時、凍った道路に気
づかずバイクで転倒したことがあ
り家族を驚かせてしまったので、
以降安全運転を心がけています。

元々モーターサイクルに関心が
高く、気軽に遠くまで出かけられ
るという利点が自動車よりも自分
のライフスタイルに合っているよ
うです。

勿論、車で出かけることもあり
ますが、休日バイクで高速を利用
して風光明媚な観光地を訪れ心身
のリフレッシュを図ります。

■バイクの魅力についてお聞かせください。

話し出すとキリがありませんが、
バイクで走行すると全ての景色が
視界に入ってくるので、四季の移
り変わりに気づきやすいです。

それは走る車の窓から見える景
色より、バイクの視界の方が広い
からでしょうか、その風景の中を
全身で風を受けて走り抜けていく、
バイクならではの爽快感を得られ
るのが魅力のひとつと言えます。

仕事でちょっと嫌なことがあつ
ても、この時間を持つことで、ど
こかに吹き飛ばしてしまいます。

これまでいろいろなバイクに乗
ってきましたが、今は「2020
年式 ハーレーダビッドソン FX
LRS ソフテイル ローライダー
S」排気量1,860cc、車両重量
308kgを昨年購入し、一番の愛
車としてあちこちへ出かけていま
す。時々家族の食事のお使いも、
バイクで行きますよ。(笑)



軽井沢にて



富士山を背景に

■バイクでどこへ行きましたか。

昨年の春は愛知県下では内海や豊川方面、他には静岡県の富士山に行きました。近場では先ほども言いましたが、日常の足として仕事の用事や買い物へ行きます。

今年の夏は少し足を伸ばし、軽井沢や長野方面まで行きました。

長距離の運転はさすがに疲れますが、健康のために筋力トレーニングを6年ほど前から始めましたので、以前に比べ持久力はあるかと思えます。

それにバイクはとても重く、操作するための筋力は必要だと感じますので、筋トレの効果はバイクに役立っていると感じます。

そういえば今年のお盆休みに高速道路を走行中、ゲリラ雷雨に見舞われ、高速バスの停車場に避難しました。

全身ずぶ濡れになりすごい雷鳴の中、雷から隠れる場所も無く初

めて自然の怖さを体験しました。

バイクは天候の余波を全身で受けますので、天気予報には気をつけていたつもりでしたが、今後は行く先までの道のり等も含め予報のチェックを怠らないよう肝に命じました。

■バイクを通じて得たことは何ですか。

まず、仕事以外の知り合いがとも増えました。

同じ趣味の友人とは、ただただバイクの話に熱中でき、次のツーリング先の話題やカスタムパーツのあれこれやと、少年の心に戻って無邪気に話し合える貴重な時間をもたらしてくれます。

心を解放できる場があることは、今後の私の人生の在り方に大きく影響をもたらします。

また、この数年青年部会長という重責から緊張した面持ちが多く

なりましたが、青年部の中にもバイクに乗っている方が数名みえ、部会の終了後にバイクの話で盛り上がりてしまうことがあり、そんな時こそ互いに本音が言える良い機会だと感じます。

このように同じ趣味の方とは、一瞬にして心の距離を縮めることができ共感を得られます。

この連鎖が人脈ネットワークを広げ、組織の拡充につながるなど、共感（趣味）が及ぼす波及効果は想像以上です。

■最後にひとことお願いします。

現在、新聞・TVの各報道から“新型コロナウイルス”の文字を見ない日はありません。

疲弊感漂う社会において、何を糧に前を向いて歩いていけば良いのか、改めて趣味という構えてしまうかもしれませんが、自分の好きなことをひとつ見つけて取り組むのはいかがでしょうか。

私はバイクに乗って多くの出来事を体験し、充実した時間を持つことができました。その反面失敗することもありましたが、それにより成長できた利点は社会活動やビジネスにおいて大きく生かされています。

では、次号の趣味倶楽部、素敵なお方のご登場をお待ちしております。



バイクの座席からのロケーション